



Cisco Unified Communications Manager License Count Utility リリース 9.1(1) の使用

初版：2012年10月14日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。



目次

はじめに v

目的 v

対象読者 v

マニュアルの構成 v

表記法 vi

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート viii

シスコ製品のセキュリティ viii

概要 1

Cisco Unified Communications Manager License Count Utility について 1

Cisco Unified Communications Manager License Count Utility の機能 2

Cisco Unified Communications Manager License Count Utility のダウンロード 3

システム要件 3

Cisco Unified Communications Manager License Count Utility ソフトウェア パッケージのダウンロード 4

Cisco Unified Communications Manager License Count Utility へのログイン 5

Unified CM サーバの管理 7

Unified CM サーバの追加 7

Unified CM サーバのプロパティの表示および変更 8

Unified CM サーバの削除 9

ライセンス レポートの生成 9

[クラスタ (Clusters)] タブ 9

ライセンス レポートの管理 11

Types of licences available 11

ライセンス レポートの更新、表示、印刷、および保存 12

ライセンス換算ワークシートの操作 13

[ライセンス レポート (License Report)] タブ 14

トラブルシューティング 19

Apple Macintosh オペレーティング システムのダイアログボックスのすべてのフィールドをタブで移動できない **19**

ログ ファイルの取得 **19**



はじめに

ここでは、このマニュアルの目的、対象読者、構成、および表記法について説明し、関連資料を入手する方法を示します。

- [目的, v ページ](#)
- [対象読者, v ページ](#)
- [マニュアルの構成, v ページ](#)
- [表記法, vi ページ](#)
- [マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート, viii ページ](#)
- [シスコ製品のセキュリティ, viii ページ](#)

目的

ここでは、Cisco License Count Utility のユーザガイドの対象読者、目的、および構成について説明します。また、説明や情報の表記に使用される表記法も定義します。

対象読者

このマニュアルは、Cisco Unified Communications Manager システムの管理を担当するネットワーク管理者を対象としています。このマニュアルを使用するには、テレフォニーおよび IP ネットワーキングテクノロジーに関する知識が必要です。

マニュアルの構成

次の表に、このマニュアルの構成を示します。

章	説明
概要, (1 ページ)	この章では、Cisco Unified Communications Manager License Count Utility の概要を示します。
Cisco Unified Communications Manager License Count Utility のダウンロード, (3 ページ)	この章では、Cisco Unified Communications Manager License Count Utility のダウンロードに関する情報を提供します。
Unified CM サーバの管理, (7 ページ)	この章では、Cisco Unified Communications Manager License Count Utility でのインベントリの管理について説明します。
ライセンス レポートの管理, (11 ページ)	この章では、Cisco Unified Communications Manager License Count Utility でのライセンス レポートの管理について説明します。

表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
太字	コマンドおよびキーワードは太字で示しています。
イタリック体	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体で示しています。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{ x y z }	必ずどれか 1 つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[x y z]	どれか 1 つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
string	引用符を付けない一組の文字。string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string とみなされます。
screen フォント	システムが表示する端末セッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、太字の screen フォントで示しています。

表記法	説明
イタリック体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体の screen フォントで示しています。
—>	このポインタは、例の中の重要な行を強調しています。
^	^ 記号は、Ctrl キーを表します。たとえば、画面に表示される ^D というキーの組み合わせは、Ctrl キーを押しながら D キーを押すことを意味します。
<>	パスワードのように出力されない文字は、山カッコ (<>) で囲んで示しています。

(注) は、次のように表しています。



(注) 「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。

ワンポイントアドバイスは、次のように表しています。



警告 「時間の節約に役立つ操作」です。記述されている操作を実行すると時間を節約できます。

ヒントは、次のように表しています。



ヒント 役立つ「ヒント」の意味です。

注意は、次のように表しています。



注意 「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

警告は、次のように表しています。



警告 「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

シスコ製品のセキュリティ

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html で参照できます。



第 1 章

概要

この章では、Cisco Unified Communications Manager License Count Utility の概要情報を提供します。

- [Cisco Unified Communications Manager License Count Utility について, 1 ページ](#)
- [Cisco Unified Communications Manager License Count Utility の機能, 2 ページ](#)

Cisco Unified Communications Manager License Count Utility について

Cisco Unified Communications Manager License Count Utility は、Device License Unit (DLU) ライセンスタイプから User Connect License (UCL) ライセンスタイプに移行する際に役立つ、デスクトップベースのアプリケーションです。Cisco License Count Utility は、シスコライセンスが必要な Cisco Unified Communications Manager デバイスに使用されます。シスコデバイスを新規に導入するか、またはアップグレードした場合には、そのデバイスを登録し、製品認証キー (PAK) を指定してシスコからライセンスを取得する必要があります。

このアプリケーションは外部インターフェイスを提供して、中央から次のライセンスタスクを実行できるようにします。

- Cisco Unified Communications Manager Release 5.x 以降で、ライセンスの使用状況についてネットワーク全体で確認できるようにします。
- Cisco Unified Communications Manager Release 9.0 以降への移行計画を支援します。

Cisco Unified Communications Manager Release 9.0 にアップグレードする前に、Cisco Unified Communications Manager License Count Utility の最新バージョンをダウンロードして実行します。このユーティリティは、利用可能な DLU を Unified CM クラスタに列挙し、システムの状態を変更せずに必要な対応する UCL を提案します。

Cisco Unified Communications Manager License Count Utility の機能

Cisco Unified Communications Manager License Count Utility には、以下の機能が備わっています。

- 直観的で使いやすい GUI。
- 導入したライセンス済みデバイスの最新のインベントリを維持できます。
- Cisco Unified Communications Manager Release 9.0 以降への移行計画を支援します。



第 2 章

Cisco Unified Communications Manager License Count Utility のダウンロード

ここでは、Cisco Unified Communications Manager License Count Utility のダウンロードおよびログインに関する情報を提供します。次の項で構成されています。

- [システム要件, 3 ページ](#)
- [Cisco Unified Communications Manager License Count Utility ソフトウェア パッケージのダウンロード, 4 ページ](#)
- [Cisco Unified Communications Manager License Count Utility へのログイン, 5 ページ](#)

システム要件

次の表に、Cisco License Count Utility ワークステーションのソフトウェア要件およびハードウェア要件を示します。

表 1: クライアント ワークステーションのソフトウェア要件

要件のタイプ	最小要件
ソフトウェア	オペレーティング システム : <ul style="list-style-type: none">• Windows 7 Professional (32 ビットおよび 64 ビット)• Windows XP Professional (32 ビット)• Mac OS X 10.4 および 10.5 Java Runtime Environment (JRE) 1.6 以降、または同等の Java Development Kit (JDK)

Cisco Unified Communications Manager License Count Utility ソフトウェア パッケージのダウンロード

ワーク ステーションに Cisco Unified Communications Manager License Count Utility ソフトウェア パッケージをダウンロードできます。

はじめる前に

- Cisco.com に Cisco.com のユーザ名とパスワードを使用してサインインしてから、ソフトウェアをダウンロードすることが必要です。
- Cisco Unified Communications Manager License Count Utility は無料です。ダウンロード、インストール、および使用に料金がかかりません。

手順

-
- ステップ 1** 適切なサーバ ホストまたはクライアント ワークステーションから、<http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html> にアクセスします。
- ステップ 2** [ソフトウェアのダウンロード (Download Software)] ページで、次の手順に従います。
- a) [製品 (Products)] を選択します。
 - b) 次のボックスで、[Voice and Unified Communications] を選択します。
 - c) 以降に表示される各ボックスで、[IP テレフォニー (IP Telephony)] > [ユニファイド コミュニケーション プラットフォーム (Unified Communications Platform)] > [Cisco Unified Communications Manager (Call Manager)] > [Cisco Unified Communications Manager Version 8.6] の順序で選択します。
 - d) [Unified Communications Manager] > [Call Manager] > [Cisco Unity Connection Utilities] を選択します。
 - e) UCTZip ファイルの横にある [ダウンロード (Download)] ボタンをクリックして、選択したリリースについての詳細情報が表示されるウィンドウを起動し、[ダウンロードカート (Download Cart)] に追加します。
- ステップ 3** ソフトウェアおよびイメージの情報が正しいことを確認し、[ダウンロードを続行 (Proceed With Download)] をクリックします。
- ステップ 4** [ユーザの詳細 (User Details)] セクションに適切な情報を入力し、[同意する (Accept)] をクリックして条件に同意します。
- ステップ 5** Cisco End User License Agreement を読み、[同意する (Agree)] をクリックします。
- ステップ 6** 適切な Java ダウンロード オプションを選択します。
- ステップ 7** ホストまたはワーク ステーションに Cisco Unified Communications Manager License Count Utility の ZIP ファイルをダウンロードし、保存します。
- ステップ 8** ホストまたはワークステーションで保存したファイルの場所に移動し、ファイルをローカル ドライブまたはローカル ディスクに解凍します。
-

Cisco Unified Communications Manager License Count Utility へのログイン

Cisco Unified Communications Manager License Count Utility にログインするには、次の手順を使用します。Cisco Unified Communications Manager License Count Utility にログインした後、Unified CM サーバを追加し、ライセンス レポートを生成できます。

はじめる前に

- Cisco Unified Communications Manager License Count Utility アプリケーションをダウンロードしたことを確認します。



重要

まだインストールしていない DLU があり、それらを行に移行に組み込む場合は、ライセンス レポートを作成する前にシステムにインストールします。これにより、利用可能なライセンスを正確に評価できます。



重要

Cisco Unified Communications Manager Release 9.0 (またはそれ以降) にアップグレードした後は、DLU をインストールできません。現在インストールされている DLU を使用するには、アップグレードする前に Cisco Unified Communications Manager サーバにインストールします。

手順

- ステップ 1** zip ファイルの内容を抽出したら、License Count Utility アプリケーションをダブルクリックします。
[パスワードの作成 (Create Password)] ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 2** パスワードを入力します。
- ステップ 3** パスワードを再入力します。
- ステップ 4** 詳細を保存してログオンするには、[送信 (Submit)] をクリックします。



第 3 章

Unified CM サーバの管理

ここでは、Cisco Unified Communications Manager License Count Utility でのインベントリの管理について説明します。次の項で構成されています。

- [Unified CM サーバの追加, 7 ページ](#)
- [Unified CM サーバのプロパティの表示および変更, 8 ページ](#)
- [Unified CM サーバの削除, 9 ページ](#)
- [ライセンス レポートの生成, 9 ページ](#)
- [\[クラスタ \(Clusters\) \] タブ, 9 ページ](#)

Unified CM サーバの追加

ライセンス レポートを要求する前に、Cisco Unified Communications Manager License Count Utility インベントリに Cisco Unified Communications Manager サーバを追加する必要があります。

はじめる前に

- Unified CM サーバが適切にインストールされ、構成されていることを確認します。
- Unified CM サーバの管理者ユーザを設定します。

手順

-
- ステップ 1** [クラスタ (Clusters)] タブの [追加 (Add)] をクリックします。
[Cisco Unified CM サーバの追加 (Add Cisco Unified CM Server)] ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 2** 次の表で説明されている情報を入力します。

フィールド	説明
ホスト名/IP アドレス (Host Name/IP Address)	Cisco Unified Communications Manager サーバのホスト名または IP アドレス。 (注) Unified CM クラスタでは、License Count Utility アプリケーションのパブリッシャ ノードだけを追加します。
ユーザ名 (User Name)	Unified CM サーバの管理者のユーザ名。
パスワード (Password)	管理者のパスワード。
[説明 (Description)] (任意)	Unified CM サーバの簡単な説明。

- ステップ 3** (任意) Unified CM サーバに接続できることを確認するには、[テスト接続 (Test Connection)] をクリックします。
- ステップ 4** [OK] をクリックして、詳細を保存し Unified CM サーバを追加します。
[警告 - セキュリティ (Warning - Security)] ダイアログボックスが Unified CM サーバを初めて追加すると表示されます。
- ステップ 5** [この発行者からのコンテンツを常に信頼する (Always Trust Content from This Publisher)] チェックボックスをオンにし、[はい (Yes)] をクリックします。

Unified CM サーバのプロパティの表示および変更

Unified CM のプロパティを表示および変更するには、[編集 (Edit)] ダイアログボックスを使用できます。次の操作を実行できます。

- ユーザ名、パスワード、および説明を変更する。
- Unified CM サーバへの接続をテストする。

手順

- ステップ 1** [クラスタ (Clusters)] タブで、Unified CM サーバを選択します。
- ステップ 2** テーブル内の Unified CM レコードをダブルクリックするか、[編集 (Edit)] をクリックします。
[編集 (Edit)] ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 3** 必要な情報を変更します。
- ステップ 4** [OK] をクリックして変更を保存します。

Unified CM サーバの削除

Cisco Unified Communications Manager License Count Utility から Unified CM サーバを削除するには、この手順を使用します。

手順

-
- ステップ 1 [クラスタ (Clusters)] タブで、削除する Unified CM サーバを選択します。複数の Unified CM サーバを削除するには、Ctrl キーを押しながら、テーブル内の対応する行をクリックします。
 - ステップ 2 Unified CM サーバを削除するには、[削除 (Delete)] をクリックします。確認メッセージが表示されます。
 - ステップ 3 [削除 (Delete)] をクリックして、Unified CM サーバを削除します。
-

ライセンス レポートの生成

ライセンス レポートを生成し、表示して、インベントリのライセンス情報を監視およびトラッキングできます。

はじめる前に

インベントリに大量のデバイスがある場合は、レポートの生成に時間がかかることがあります。

手順

-
- ステップ 1 [クラスタ (Clusters)] タブで、ライセンス レポートに含める Cisco Unified Communications Manager サーバに対する [レポートに含める (Include in Report)] チェックボックスをオンにします。
 - ステップ 2 新しいレポートを生成する場合は [レポートの作成 (Generate Report)] をクリックします。
-

[クラスタ (Clusters)] タブ

次の表では、[クラスタ (Clusters)] タブの設定について説明します。

表 2: [クラスタ (Clusters)] タブの設定

設定	説明
追加 (Add)	新しいレコードを追加するには、[追加 (Add)] をクリックします。

設定	説明
編集 (Edit)	レコードを変更するには、[編集 (Edit)] をクリックします。
削除 (Delete)	データベースからレコードを削除するには、[削除 (Delete)] をクリックします。メッセージは、レコードを削除していることを警告します。
レポートの作成 (Generate Report)	ライセンス レポートを生成するには、[レポートの作成 (Generate Report)] をクリックします。
ホスト名/IP アドレス (Hostname/IP Address)	Unified CM サーバの IP アドレスまたはホスト名です。
説明 (Description)	Unified CM サーバを示す語です。
最新のバージョン (Version (Last Known))	Unified CM ソフトウェアのバージョンです。
前回の接続ステータス (Last Connection Status)	Unified CM サーバ接続の状態です。
レポートに含める (Include in Report)	ライセンス レポートに Unified CM サーバを含める場合は、このチェックボックスをオンにします。



第 4 章

ライセンス レポートの管理

Cisco Unified Communications Manager License Count Utility は、Cisco Unified Communications Manager デバイスのライセンス情報を監視およびトラッキングするのに使用できる、ライセンス レポートを提供します。ライセンス レポートはプレーンテキスト形式で表示され、[ライセンス レポート (License Report)] タブでのみ表示できます。ライセンス レポートを保存またはエクスポートすることもできます。

ここでは、次の内容について説明します。

- [Types of licences available, 11 page](#)
- [ライセンス レポートの更新、表示、印刷、および保存, 12 ページ](#)
- [ライセンス換算ワークシートの操作, 13 ページ](#)
- [\[ライセンス レポート \(License Report\) \] タブ, 14 ページ](#)

Types of licences available

The table below describes the different type of licenses that are available.

License Type	Description
Essential	User based license that supports any one type of device providing basic voice via analog device (phone or fax). The devices can be of type analog phone, ATA 186, ATA 187, Cisco 3905, or Cisco 6901.
Basic	User based license that supports any one type of device which includes all essential features and basic (voice and video) call control features. The devices can be of type Cisco 6911 and Cisco 6921.

License Type	Description
Enhanced	User based license that supports any one type of device which includes all basic features and advanced (voice and video) call control features including desktop and mobile clients. The devices can be of type Cisco 3911, Cisco 3951, Cisco 6941, Cisco 6945, Cisco 6961, Cisco 79xx, Cisco 89xx, Cisco 99xx, Cisco E20, Cisco TelePresence EX60, Cisco TelePresence EX90, and third party SIP.
Enhanced Plus	User based license that supports up to two devices and includes all the features of the Enhanced license type.
CUWL Standard	Unified Workspace Licensing (UWL) license for call control which supports advanced (voice and video) call control features including desktop and mobile. This license type supports multiple devices per user.
CUWL Professional	Unified Workspace Licensing (UWL) license for call control which includes all the features of the CUWL Standard license type and professional collaboration workspace application features.
Telepresence Room	License type that supports room-based immersive and multipurpose Cisco TelePresence System endpoints. The devices can be fo type Cisco TelePresence System Series 3200, 3000, 1300; Cisco TelePresence MX Series; Cisco TelePresence TX Series; Cisco TelePresence System Profile Series.
Unused DLUs	The number of Device License Units (DLUs) remaining on the server that are not being consumed by currently configured users or devices.

ライセンス レポートの更新、表示、印刷、および保存

ライセンス レポートを作成し、表示して、Unified CM デバイスのライセンス情報を監視およびトランッキングできます。

はじめる前に

インベントリに大量のデバイスがある場合は、レポートの生成に時間がかかることがあります。

手順

-
- ステップ 1** すでに生成されたライセンス レポートを表示するには、[ライセンス レポート (License Report)] タブをクリックします。

各 Unified CM サーバのライセンス使用状況が表示されます。

- ステップ 2** 既存のライセンス レポートを再生成するには、[レポートの更新 (Refresh Report)] をクリックします。
- ステップ 3** 必要に応じて、このダイアログボックスで他のタスクを実行します。
- レポートを印刷するには、[印刷 (Print)] をクリックします。プリンタ オプションを設定し、[印刷 (Print)] をクリックします。
 - レポートをエクスポートするには、[名前を付けて保存 (Save As)] をクリックします。保存するように求められたら、カンマ区切り形式 (CSV) でフィルタリングされたデータを保存するファイル名を入力します。

ライセンス換算ワークシートの操作

[クラスタ (Clusters)] タブで Unified CM サーバのライセンス レポートを生成すると、Licence Count Utility は Unified CM クラスタ内の使用可能な DLU を列挙し、システムの状態を変更せずに、[ライセンス レポート (License Report)] タブに必要な対応する UCL を提案します。

その後で、ライセンス換算ワークシートを使用して、利用可能な Device License Units (DLU) をアップグレードし、使用するためのシナリオを計算できます。推奨されるライセンス数を User Connect Licenses (UCL) または Cisco Unified Workplace Licenses (CUWL) として表示するには、[推奨モード (Recommendation Mode)] ドロップダウン リストから対応するオプションを選択します。新しいライセンス数を入力するか、各ライセンス タイプのステッパー ボタンをクリックして、アップグレード シナリオを計算できます。

アップデートライセンス数を計算した後で、[コンプライアンスチェックの実行 (Run Compliance Check)] をクリックして、計算を検証できます。このコンプライアンスチェック機能では、既存のライセンス数がアップグレード シナリオに対して十分かどうかを計算します。

[推奨される数の調整 (+/-) (Adjust Recommended Count (+/-))] 列で、アップグレード シナリオに必要なライセンス数を追加できます。既存のライセンスの数がアップグレードのニーズを満たさない場合は、[未使用の DLU の残り (Unused DLU's Remaining)] フィールドに負の値が表示されます。[未使用の DLU の残り (Unused DLU's Remaining)] フィールドに負の値が表示される場合にコンプライアンス チェックを実行すると、チェックが失敗します。



- (注) [推奨される数の調整 (Adjust Recommended Count)] フィールドの値は、ゼロを下回ることができません。

手順

- ステップ 1** ライセンス レポートを更新するには、[ライセンス レポート (License Report)] タブの [レポートの更新 (Refresh Report)] をクリックします。
- ステップ 2** 必要に応じて、このダイアログボックスで他のタスクを実行します。

- a) [推奨モード (Recommendation Mode)] で CUWL ライセンスを選択した場合は、導入に含める Public Space 電話の数を指定して、Cisco Unified Workplace License ではなく User Connect License を割り当てます。
- b) アップグレードシナリオを計算するには、[推奨される数の調整 (Adjust Recommended Count)] の値を入力するか、ステッパー ボタンをクリックします。
- c) [推奨される数の調整 (Adjust Recommended Count)] フィールドの値をリセットするには、[値のリセット (Reset Values)] をクリックします。
- d) コンプライアンスレポートを実行するには、[コンプライアンスチェックの実行 (Run Compliance Check)] をクリックします。
- e) ライセンス換算ワークシートを印刷するには、[印刷 (Print)] をクリックします。プリンタ オプションを設定し、[印刷 (Print)] をクリックします。
- f) ライセンス換算ワークシートをエクスポートするには、[名前を付けて保存 (Save As)] をクリックします。保存するように求められたら、カンマ区切り形式 (CSV) でフィルタリングされたデータを保存するファイル名を入力します。

[ライセンス レポート (License Report)] タブ

次の表では、[ライセンス レポート (License Report)] タブの設定について説明します。

表 3: [使用状況データに基づくライセンス要件 (License Requirements Based on Usage Data)] セクションの設定

設定	説明
レポートの更新 (Refresh Report)	ライセンス レポートを更新するには、[レポートの更新 (Refresh Report)] をクリックします。
名前を付けて保存 (Save As)	ライセンス レポートをエクスポートするには、[名前を付けて保存 (Save As)] をクリックします。保存するように求められたら、カンマ区切り形式 (CSV) でフィルタリングされたデータを保存するファイル名を入力します。
印刷 (Print)	ライセンス レポートを印刷するには、[印刷 (Print)] をクリックします。プリンタ オプションを設定し、[印刷 (Print)] をクリックします。
ホスト名/IP アドレス (Hostname/IP Address)	Cisco Unified Communications Manager サーバのホスト名または IP アドレス。
説明 (Description)	Unified CM サーバを追加したときに指定した説明。

設定	説明
Essential	アナログデバイス（電話またはファクス）を介して基本的な音声機能を提供する1つのデバイスをサポートする、ユーザベースのライセンス。（例: アナログ電話、ATA 186、ATA 187、Cisco 3905、Cisco 6901）。
Basic	1つのデバイス（Essential ライセンスでサポートされるすべてのデバイスを含む）と、基本的な（音声およびビデオ）コール制御機能をサポートする、ユーザベースのライセンス。（例：Cisco 6911、Cisco 6921）。
Enhanced	1つのデバイス（Basic ライセンスでサポートされるすべてのデバイスを含む）と、デスクトップやモバイルクライアントを含む、高度な（音声およびビデオ）コール制御機能をサポートする、ユーザベースのライセンス。 （例：Cisco 3911、Cisco 3951、Cisco 6941、Cisco 6945、Cisco 6961、Cisco 79xx、Cisco 89xx、Cisco 99xx、Cisco E20、Cisco TelePresence EX60、Cisco TelePresence Ex90、サードパーティ製 SIP）。
Enhanced Plus	最大2台のデバイス（Enhanced ライセンスでサポートされるすべてのデバイスを含む）をサポートする、ユーザベースのライセンス。
CUWL Standard	Enhanced Plus のコール制御機能と、ユーザ1人あたり最大10のデバイスをサポートするライセンス。
CUWL Professional	CUWL Standard の機能をサポートし、専門的なコラボレーションワークスペースアプリケーション機能を含むライセンス。
Telepresence Room	ルームベースの没入型かつ多目的の Cisco TelePresence System エンドポイントをサポートするライセンス。 （例：Cisco TelePresence System シリーズ 3200、3000、1300、Cisco TelePresence MX シリーズ、Cisco TelePresence TX シリーズ、Cisco TelePresence System Profile シリーズ）。
Unused DLUs	現在設定されているユーザおよびデバイスに使用されていない、サーバに残っている Device License Unit (DLU) の数。

ライセンス換算ワークシートを使用して、利用可能な Device License Units (DLU) をアップグレードし、使用するためのシナリオを計算できます。お客様がオーダーする必要があるライセンスを計算するには、最初に推奨モードを選択します。

表 4: [ライセンス換算ワークシート (License Conversion Worksheet)] セクションの設定

設定	説明
推奨モード (Recommendation Mode)	推奨されるライセンス数を User Connect Licenses (UCL) または Cisco Unified Workplace Licenses (CUWL) として表示するかどうかを指定します。
Public Space 電話 (Public Space Phones)	Cisco Unified Workplace Licenses (CUWL) ではなく User Connect Licenses (UCL) を割り当てる、Public Space 電話の数を指定します。このフィールドは、推奨モードとして CUWL ライセンスを選択した場合にだけ表示されます。
ライセンスのタイプ (License Type)	サポートされるライセンス タイプを表示します。
現在のライセンスの使用状況 (Current Licence Usage)	このレポートに含まれる Unified CM サーバで現在設定されているすべてのユーザおよび電話をカバーするのに必要なライセンスの最小数。
推奨されるライセンス数 (Recommended License Count)	このレポートに含まれる Unified CM サーバで現在設定されているすべてのユーザおよび電話をカバーするのに必要なライセンスの推奨数。この列の推奨値は、選択した推奨モードに応じて、CUWL または UCL ライセンスとして表示されます。
推奨される数の調整(+/-) (Adjust Recommended Count (+/-))	ライセンスの推奨数を調整するには、このカラムを使用します。ライセンス タイプ間でライセンス数を変えたり、未使用の DLU を消費するようにライセンスを増やすことができます。更新されたライセンス数は、[新しいライセンス数 (New License Count)] カラムに表示されます。
新しいライセンス数 (New License Count)	[推奨されるライセンス数 (Recommended License Count)] と、[推奨される数の調整 (Adjust Recommended Count)] カラムで指定した変更に基づく、特定のライセンス タイプの更新されたライセンス総数。

設定	説明
ライセンスあたりのDLU (DLUs Per License)	特定のライセンス タイプの 1 つのライセンスによって消費される DLU の数。 デバイス ライセンス ユニットが Cisco Unified Communications Manager に接続された各デバイスに割り当てられます。各デバイスに、そのデバイスのタイプと機能に基づいてユニット番号が割り当てられています。より複雑でハイエンドな機能を持つデバイスは、より高いユニット番号を割り当てられます。
変更された DLU 使用数(+/-) (DLU Changes (+/-))	調整に基づいて、特定のライセンス タイプが消費する DLU の数を増減します。DLU の変更は、推奨されるライセンス数の調整とライセンスあたりの DLU の値として計算されます。
コンプライアンスチェックの実行 (Run Compliance Check)	入力した値を検証するコンプライアンス レポートを実行するには、[コンプライアンスチェックの実行 (Run Compliance Check)]をクリックします。
値のリセット (Reset Values)	[推奨される数の調整(+/-) (Adjust Recommended Count (+/-))] フィールドの値をリセットするには、[値のリセット (Reset Values)]をクリックします。
未使用の DLU の残り (Unused DLU's Remaining)	利用可能な未使用の Device License Units (DLU) 。



第 5 章

トラブルシューティング

ここでは、Cisco Unified Communications Manager Licence Count Utility に関するトラブルシューティング情報を示します。

- [Apple Macintosh オペレーティング システムのダイアログボックスのすべてのフィールドをタブで移動できない, 19 ページ](#)
- [ログ ファイルの取得, 19 ページ](#)

Apple Macintosh オペレーティング システムのダイアログボックスのすべてのフィールドをタブで移動できない

Macintosh システムのダイアログボックスの各フィールドをタブで移動できない場合は、Macintosh システムのフル キーボード アクセス機能をオンにする必要があります。

フル キーボード アクセス機能をイネーブルにするには、以下の手順に従ってください。

- 1 Macintosh システムで、[システム環境設定 (System Preferences)] を開きます。
- 2 [キーボード (Keyboard)] をクリックします。
- 3 [キーボード ショートカット (Keyboard Shortcuts)] タブをクリックします。
- 4 [フルキーボードアクセス (Full keyboard access)] オプションで、[すべてのコントロール (All Controls)] オプションを選択します。

ログ ファイルの取得

次のディレクトリから Cisco Unified Communications Manager Licence Count Utility のログ ファイルを取得できます:

```
<userid>\UserCountTool\com\cisco\uct\log4j\
```




索引

C

Communications Manager サーバのプロパティの表示または変更 [8](#)

U

UCT へのログイン [5](#)
Unified CM サーバの追加 [7](#)

と

導入前の顧客データの収集 [4](#)

ら

ライセンス換算ワークシートの操作 [13](#)
ライセンス レポートの更新、表示、印刷、および保存 [12](#)

